

# 青少年やどめ

第 37 号

発行者  
青少年育成秋田市民会議  
事務局  
秋田市子ども未来センター内  
少年指導センター

〒010-8506  
秋田市東通仲町4番1号  
TEL 018-884-3869  
FAX 018-887-5335



総会・交流会 (24名参加) 風景  
令和元年5月11日 (協働大町ビルにて)

【重いカバン】には、  
夢が詰まっている



青少年育成秋田市民会議

会長 遠田 順夫

「夢と希望を」「平和で楽しい生活」「子どもの健全な成長を願う」等、青少年育成に関する賢者にとっては合言葉のように使用する。

誰もがよりよい生活を求めていることであり、せめて「わが子の行く末だけでも」との親心なのだろう。

美味しいスイーツを食べると「お菓子屋さん」に、電車に乗ると「運転士さん」に、「宇宙飛行士」に、「探検家」にと限りなく「夢」を見てしまうのは昔も今も変わりは無いと思っている。

しかし、現実には年齢的に、休暇がとれない、家族の同意が得られない、多額の経費等多々制約があり、残念ながら「夢」で終わってしまっているものが多い。

「物語を旅する」をテーマにしている探検家高橋大輔氏は、「ロビンソン・クルーソーを探して」(新潮社)の著者で住居跡を発見(1994、2005)した秋田市出身・在住の方である。この世

界的に有名な高橋氏から講演後に「桜たんけん塾」あて、大きな錦糸のフラッグに大きな夢の達成に向けてとお願いしたところ「答えは旅の中にある高橋大輔」というサインを頂いた。塾生や私たち講師一同のお宝である。(1983、2019高橋大輔の遍歴世界地図)を見ると南極、ヒマラヤ、サハラ砂漠、ガラパゴス、カリブ海等、五大大陸を縦横無尽に馳せている。羨ましいかぎりだ。

現在は世界に伝わる神話伝説等の伝承地にフィクション&ノンフィクションの接点を求めて世界旅を重ねているようである。「冒険は危険を伴うが、探検は探し求めるだけ」ですからというが、くれぐれも御身を大切に子どもたちと大人の私たちにも「夢の世界」を楽しませてほしいと願いたい。

子どもたちの重いカバンには「将来の夢が詰まっている」と思っている。

